

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1番 (12月11日)	8番 出水賢太郎 議員	1. 友好都市との交流事業について	(1) 市民間の交流をより促進すべきではないか。	市長
			(2) 経済活動につながる交流を進めていくべきではないか。	市長
		2. 地域づくり推進事業について	(1) 第3期地区振興計画策定にあたって、各地区からの要望や課題はどのようなものであったか。	市長
			(2) 地域づくり推進事業費の使い道について、自由裁量化の声があるが、どのように考えるか。	市長
			(3) 過疎化・高齢化が進む地区では、共生協働が成り立たなくなっている。どのように方策を考えているか。	市長
		3. 地方創生について	(1) 政府の地方創生の政策において、日置市ではどのような取り組みを行うのか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2番 (12月11日)	7番 山口初美 議員	1. 子どもの医療費は中学校卒業まで無料にするべきではないか。	(1) 県内でも出水市、曾於市、志布志市、南大隅町などで高校卒業まで子ども医療費無料が新たな流れとなっており、中学校卒業まで無料が阿久根市、鹿屋市、霧島市、いちき串木野市、薩摩川内市、垂水市、西之表市、枕崎市、南さつま市、南九州市などと拡充が進んでいる。本市も1日も早く中学卒業までの無料化を実施すべきではないか。	市長
		2. 脱原発について	(1) 安全、円滑な住民避難が可能な現実性のある避難計画の完成はいつか。	市長
			(2) 今の避難計画では「被ばく計画だ」との批判があるが、見解を伺う。	市長
			(3) 有効な避難計画が策定できるまで再稼働に対して不同意を貫くべきではないか。	市長
		3. 高すぎる国民健康保険税の引き下げについて	(1) 国保税が高すぎるために無保険者がふえていることが社会問題となっているが、対策を伺う。	市長
			(2) 医療を受ける権利を保障するためには、滞納者への短期保険証や資格証明書を発行するのではなく、正規の保険証を発行するべきではないか。	市長
		4. 学校再編計画について	(1) 小中学校の適正規模、基本方針、再編計画など、市民と共通認識できたと考えるか。	市長 教育長
			(2) 小さな学校でも長い歴史を持ち、地域に根付き、子どもたち一人ひとりが大切にされ、保護者に支えられ、教師が熱意を持っている。この教育力のある小さな学校を守り、残す努力をもっとするべきではないか。	市長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3番 (12月11日)	18番 池満 渉 議員	1. 農業集落排水事業の今後について	(1) 加入戸数・加入人口等の推移と現状、処理場および管路等の現在の状態はどうか。	市長
			(2) 今後の施設改修など、長寿命化のための計画はどうか。	市長
			(3) 合併浄化槽への切り替えなどの、検討は必要ないか。	市長
		2. 今年の収穫作業も終わったが、本年産の米価について	(1) 本市の米価対策について、先の質問後の動きはどうか。	市長
			(2) 採算が取れるコメづくりについて、JAなどとの連携をどう進めるか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番 (12月12日)	14番 大園貴文 議員	1. 第二次日置市総合計画 について	(1) 吹上浜アスリートの森づくりの展開について、キャンプ村跡地に誰でもできるスポーツとしてパークゴルフ場の建設を検討できないか。	市長
			(2) さつま湖の買収について岩崎産業との交渉はどのようになっているか。	市長
			(3) ゆーぷる吹上の整備計画について、年次計画と活用策をどのように進めるのか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6番 (12月12日)	11番 坂口洋之 議員	1. 小中学校の土曜授業への考え方について	(1) 文部科学省が土曜授業導入について、研究されているようだが本市の考え方について伺う。	教育長
			(2) これまでの学校週5日制への移行の目的と経過の状況はどうか。	教育長
			(3) 文部科学省が24年度に実施した「公立小・中学校・高等学校における土曜授業に関する調査」の内容と結果についての教育長の考え方を伺う。	教育長
			(4) 本市においての児童・生徒の土曜日の過ごし方・活動等の状況はどうか。	教育長
		2. 川内原発の再稼働と避難計画について	(1) 川内原発再稼働の地元同意の経過について市長の見解を伺う。	市長
			(2) 実効性のある避難計画作成に向けての現状と課題は何か。	市長
			(3) 要援護者の把握と避難計画の現状はどうか。	市長
			(4) 小・中学校における避難計画への取り組み状況はどうか。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7番 (12月12日)	20番 松尾公裕 議員	1. 森林の整備と木材活用について	(1) 森林は治山治水などの多面的機能がある。本市は間伐が進んでない所が多くあるが、間伐推進の状況はどうか。また、入会林野事業を導入して所有者確保を進めたらどうか。	市長
			(2) 木材の活用を進めるために公共的施設は積極的に木材建築を推進すべきと思うが。また地材地建に対して補助する考えはないか。	市長
		2. 湯之元のまちづくりについて	(1) まちづくり80人会で一生懸命まちづくりの協議を重ねているが人口減、高齢化、空き家など(南側)のため衰退の一途である。街路整備事業等の実施を考えるべきではないか。	市長
			(2) 湯田地区館から要望のあった、新田川沿いの市道(元湯堀内線)の暗渠化については、どのように進めるか。 また、山仁田川の残りの未整備部分は、いつ頃から事業着手できるか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
8番 (12月15日)	5番 黒田澄子 議員	1. 「子どもたちの公平・平等な健全育成のために」市の高等学校運動部全国大会補助金交付要綱の見直しをすべきでは	(1) サッカー・野球に限定された高等学校の要綱を、中学校の補助金交付同様にすべての運動部また、文化的活動も含んだ補助金交付制度にすべきだがどうか。	市長 教育長	
			2. 女性の生涯にわたる健康支援について問う	(1) 本市における産後の母子へのサポート(産後うつ・児童虐待防止策等を含む)の現状を問う。	市長
				(2) 国は今年度まで、産後ケアモデル事業に取り組んでいるが産後ケアに対する市長の見解を問う。	市長
		(3) 本市でも宿泊型・デイケア型・助産師による訪問型等の総合的な産後ケア及び厚生労働省の進めるファミリーサポートセンター設置に取り組まないか。		市長	
		3. さらに定住促進のために	(1) 本市の定住促進は過疎地へ市外からの転入のみが実施されているが、市の考える定住の見解を問う。	市長	
				(2) 市内の賃貸等に住する若者世帯が、市内に家を購入する際も定住促進制度を導入すべきだがどうか。	市長
				(3) 子育て支援も念頭に置いた岡山県笠岡市の「三世同居等支援事業」について本市も研究し、今後実施していく考えはないか。	市長
		4. 今後の共生協働の地域づくりの在り方を問う	(1) 人口減少・高齢化・過疎化の課題を抱える本市の共生協働の町づくりの理想と展望を問う。	市長	
				(2) 第3期地区振興計画におけるハード・ソフト事業の割合(各50%)の根拠等を問う。	市長
				(3) 業務多忙・後継者作りに困難を極める地区館長について報酬の引き上げを考えないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9番 (12月15日)	17番 田畑純二 議員	<p>市政最高レベルの方針を引き出す質問として</p> <p>1. 本市の社会インフラの再生について</p> <p>2. 本市の福祉政策について</p> <p>3. 本市の健康政策について</p>	(1) 市長は社会インフラの老朽化と地方自治についてどのように考え、日頃の行政でどうしているか。	市長
			(2) 本市では社会インフラの再生を図るために、どんな政策をどう実行し、その成果効果はどうか。	市長
			(3) 国土強靱化の本格的な推進に向けて、どのように考え、今後本市ではどうしていくつもりか。	市長
			(4) 本市での社会インフラ老朽化の解決に向けての課題は何で、それにどう対処していくつもりか。	市長
			(5) 地域振興における多様な廃校活用と課題及び方向性をどう考え、どう対応していくつもりか。	市長
			(1) 市長は本市での市民福祉社会の構築をどのように考え、日頃の行政の中でどうしているか。	市長
			(2) 本市での福祉政策はどんなものがあり、市民の日常生活にどう役立っているか具体的に示せ。	市長
			(3) 地域包括ケアシステムの実現に向けて、本市ではどんな考え方で、どのように対応しているか。	市長
			(4) 国民健康保険における自治体の位置づけと課題をどうとらえ、どのように対処していくつもりか。	市長
			(5) 本市での待機児童の現状と、この問題解消のカギをどう考え、どのように対応しているか。	市長
			(1) 市長は健康寿命をのばした「健康長寿社会」をどう構想し、日頃の行政でどうしているか。	市長
			(2) 健康づくりから健康政策への自治体の役割と責務を市長はどう考え、どう実行しているか。	市長
(3) ビッグデータ活用による健康都市づくりの推進を本市でも図ってはどうか。	市長			
(4) 生活習慣病の重症化予防に向けての政策と実行、効果は。	市長			

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
10番 (12月15日)	12番 花木千鶴 議員	1. 「ヤンバルトサカヤスデ」対策について	(1) 本県南薩地域に大量発生している「ヤンバルトサカヤスデ」の本市への侵入状況と今後の対策はどうか。	市長	
			2. 自殺、うつ病対策について	(1) 鹿児島県は、県内の自殺死亡率が全国でも高い状況にある。本市でも「こころの健康づくり講演会」等をはじめ、多くの事業に取り組んでいるが、現状と課題はどうか。	市長
				(2) 本年度、「財団法人メンタルケア協会鹿児島支部」が設立され、事務所は日置市妙円寺団地内にある。今後、協会の精神対話士の活用をすべきと考えるがどうか。	市長
		3. 日置市の小中一貫教育の取り組みについて	(1) 土橋小中学校をはじめ、連携による教育の成果と課題は何か。	教育長	
			(2) 「のびゆくひおきっ子事業」の成果と課題は何か。	教育長	
			(3) 施設分離型の一貫教育の考え方について伺う。(教育課程編成、先生方の共通理解、運営面など)	教育長	